



2019年7月1日

SOMPOホールディングス株式会社

アジア太平洋地域における「労災リスク調査サービス」の提供開始

SOMPOホールディングス株式会社（グループCEO執行役社長：櫻田 謙悟、以下「SOMPOホールディングス」）のアジア太平洋地域統括会社である Sompo Holdings (Asia) Pte. Ltd. は、2019年7月1日から日系企業の工場を対象とした労災リスクに関する新サービス（以下「本サービス」）の提供を開始します。

1. 背景・目的

シンガポール当局の統計によると、工場内の工作機械などの作業中に従業員が負傷するケースは、火災事故等に比べて極めて高い状況にあります。従業員が作業中に負傷すると企業にとっては労働力不足や企業が負担すべき損害賠償金等が発生することにより、企業の事業継続に支障をきたすケースが少なくありません。そこで本サービスは、上記のようなケースに備えて、工場内の労災リスクを第三者の視点から調査し、企業の労災リスクの軽減や安全性向上のための改善項目を提案します。

2. サービス概要

工場内の潜在的なリスクを評価する従来の防災調査では、主に火災リスクを対象としていましたが、本サービスは機械設備を稼働する際の作業リスクを対象としています。

本サービスは各機械設備の稼働状況や安全対策を確認した後、労災リスクのさらなる低減に向けた改善項目（安全カバーの設置、防護具の装着、自動停止装置の設置など）を提案します。本サービスの料金は1,000 シンガポール・ドルで、現地での調査時間は半日を想定しています。

また、Sompo Holdings (Asia) Pte. Ltd. は、本サービスに加えて、人為的ミスや管理不良、労働環境などの要因に対する評価を行うサービスもあわせて提供します。

3. 今後について

SOMPOホールディングスグループは、企業の工場における設備的要因に対する最適な予防策を、アジア太平洋地域の日系企業のお客さまに提案することにより、お客さまの労災リスクの低減を図ってまいります。

以上